

イキイキと働ける職場環境の整備

■ 多様な従業員が働きやすい職場環境づくり

ヤクルトグループは、従業員の働き方、能力、価値観は多種多様であり、違いがあるからこそ組織として新たなイノベーションが起きるということを前提に、従業員の個性をできる限り活かして、イキイキと働ける職場づくりに努めています。また、働きやすい職場環境の実現のための取り組みとして、本社では健康経営の視点に立った社員の健康づくりの推進や、全国事業所での社員面談等を実施しています。

■ 労働基本権の尊重

当社では、現状企業別労働組合は組織されていませんが、事業所ごとの社員の過半数を代表する者と連携し、社員の意見を聴取しています。また、社員への影響が大きい改定内容の場合には、事前に全社員向けの説明会を実施し、合意形成に努めています。

初任給と最低賃金との比較(2021年度)

	初任給(円)	最低賃金との比較(%)
大学院修了	226,500	143
大学卒(総合職)	217,000	137
大学卒(一般職)	191,000	120
短大卒	182,000	115
専門学校卒	182,000	115

※ 最低賃金は東京都の最低賃金(1,041円/時)より、1か月20.08日、1日の労働時間7.5時間として算出。なお、等級別の給与制度となっており、同一等級・職群での男女別格差はありません。

■ 上級管理職の現地採用(ヨーロッパヤクルト)

ヨーロッパヤクルトおよび関連する欧州グループ会社では、地域社会に根差し持続的な成長を遂げるため、欧州各国で上級管理職の現地採用を積極的に行っています。欧州ヤクルトグループにおいては現地採用の社長も登用しています。また、ヨーロッパヤクルトでは、全執行役員6人のうち4人が現地採用であり、全管理職の約8割が現地出身の社員となっています。

関連情報 ▶ P.62 現地雇用・調達に関する基本的な考え方 ▶▶▶

■ エンパワメントプロジェクトの展開(イタリアヤクルト)

イタリアヤクルトでは、2021年9月から全従業員を対象としたエンパワメントプロジェクトを展開しています。この取り組みを通じて、マネージャーと従業員がより良い相互関係を築くため、継続的にフィードバックを行い、ともに成長し、一つのチームとして働くことを促進します。同時にプロジェクトに参加するマネージャーには、自分の役割に対する意識を高め、リーダーシップの成長を促すことを求めています。